

授業科目	社会福祉学	2 学年・前期・1 単位 (15 時間)	
		理学 作業	必修 必修

科目担当責任者	(今井博康) (-) e-mail : -	非常勤講師 連絡担当教員	小塚直樹 (保健医療学研究棟 E415 号) e-mail : kozuka@sapmed.ac.jp
担当教員			
概要	日本の社会福祉の歴史を概観し、社会福祉の基本的な考え方を理解する。わが国における社会福祉の仕組み、考え方、現状の概要を学ぶ。また、医療従事者に必要な社会福祉関係の知識の獲得、チーム医療実践の必要性を学ぶ。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今日の社会福祉の理論と施策の基本的な考え方を説明できる。 2. わが国の福祉関係諸法制度の概要について障害者福祉を中心に説明できる。 3. 医療職種に必要な福祉関係の社会資源に関し説明できる。 4. 医療関係専門職種と社会福祉専門職種との連携、チームアプローチに関し説明できる。 		
関連科目	保健福祉行政論		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	学習状況	40%	レポート及び授業参加への積極性から評価する。
	レポート	60%	
教科書	指定なし		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・講義開始後の入室は極力避けられたい。 ・出席の不正登録には厳正に対処する。 ・講義終了後、またはEメールによる質問に応じる。 ・講義の進展、その時々の特ピックスにより順位が変更となる場合がある。 <p>※参考文献は講義において都度紹介する。</p>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	社会福祉の概念と理論(障害者福祉領域を中心に)	事前：ミクロ・メゾ・マクロ領域の社会福祉について事前学習しておく。	講義	(今井)
2	戦後の日本の社会福祉の形成と専門職の役割変化①	事後：講義内において指示する。また前回の復習時間をとる。	〃	〃
3	戦後の日本の社会福祉の形成と専門職の役割変化②	事後：講義内において指示する。また前回の復習時間をとる。	〃	〃
4	今日の社会状況と社会福祉の対象の検討	事後：講義内において指示する。また前回の復習時間をとる。	〃	〃
5	各領域における福祉サービスの概要と専門職の活動	事後：講義内において指示する。また前回の復習時間をとる。	〃	〃
6	社会福祉専門職(ソーシャルワーカー)の技能・知識・価値	事後：講義内において指示する。また前回の復習時間をとる。	〃	〃
7	医療、障害福祉領域における社会福祉専門職の活動・チームアプローチへの理解と考察①	事後：講義内において指示する。また前回の復習時間をとる。	〃	〃
8	医療、障害福祉領域における社会福祉専門職の活動・チームアプローチへの理解と考察②	第1～8回の総括とともにレポート課題を提示する。	〃	〃